



子どもたちの豊かな学びのため

H 26年度 冬 第1号

H27. 1. 9

「あぁ～おもしろかった！！」「また、あした！！」

冬の風物詩を楽しむ ～お餅つき～

12月26日（金）に、年末恒例の餅つきをしました。今年もウエイトトレーニング部の学生4人が、手伝いに来てくれました。石の臼に蒸し上げた餅米を入れ、筋肉隆々のお兄さんたちが杵でつくると、あっという間につや



つや・なめらかなお餅に変わっていきます。子ども達も順番に並んで、子ども用の杵でつきました。慣れない動作のため、ふらふらする子もいました。お兄さんたちは、子ども達がつくたびに「ハイ」「ハイ」と掛け声をかけてくれるので、頑張っ

て杵を振り下ろして、お餅をつきました。準備も高学年を中心にしてくれました。トッピングは、きな粉・あんこ・大根おろし・納豆の4つでした。きな粉にたくさんの砂糖を入



れなければいけないと教えてもらって「え～、こんなに入れるん?!」とびっくり。きな粉と混ぜても中々混ざらない砂糖に悪戦苦闘しながらも、味見をして満足した様子。一番人気がありました。お餅が無くなっても入れ物に残ったきな粉をペロペロ。口の周りをきな粉だらけにしている子もいたほどでした。年末の伝統行事を楽しんだ1日でした。ウエイトトレーニング部のみなさんありがとうございました。

ました。

冬の遊びを楽しもう～凧揚げ～

冬の遊びを楽しもうと、レジ袋のグニャグニャ凧を作りました。課題は、作り方を見て考えて自分で作る。A君はレジ袋で上手く出来たので次は、大きな90Lのゴミ袋で挑戦。出来た凧は、電線も障害物も無いグラウンドで上げると、ホントによく上がりました。「わ～い！わ～い！上がった～！上がった～！」「引っ張られて飛んで行きそう～！」と興奮しながら凧を持ってグラウンドを走り回っていました。それを見ていた子も「わ～すげえ上がってる。オレらぁも作ろう！」と挑戦し始めました。冬は、風が強いので凧が良く上がります。走り回る

ので体も暖まります。だから凧は、冬の遊びなんですね。



子ども裁判でトラブル解決！？

夏休みの期間中、土山に神水寺を作り、その遊びのなかで、仲間関係を築いてきた男の子たち。夏休みからブランクがあり、冬休みはどうなるかなと気になっていましたが、初日から土山にまっしぐらの神水寺グループ。寒さも何のその。遊びは夏休みで終わりではなくさらに発展。今度は神水寺のふもとに庭を作り始めました。女の子達が、捨ててあった笹の枝を、テラス前にたくさん立てて日本庭園のようにしていたのを見て、発想がふくらんだ様子。「お前はジャリを集めてくる」「お前は笹の木を集めてこい！」と指示する4年生Sくん。地面に描いた家の周りに沿ってみんなでジャリを敷き、家の中には縁側や畳の部屋も作りまし。最後に1m位の笹の枝を地面にさして「うん、これで落ち着ける空間ができた！お昼を食べた後はここで昼寝をしよう！」と4年生Kくん。

夏休みは土山をどっちのグループが使うかと、もめたこともありましたが、何事もなかったかのように合流し、10人以上の大きな集団になっています。もめごとを乗り越えていくたび仲間を増やしてきましたが、今度は神水寺で遊んだことのなかった1年生のNくんとトラブル。Nくんはおもちゃのショベルカーに乗って、神水寺の周辺を行ったり来たり。神水寺の遊びが気になるようですが、「もっとおもしろい遊びはないんか」とからかったり、山に置いてあった4年生のTくんの剣をつかんで「オレの剣をとるなー！」と追いかけられ、つかみあいになってしまいました。そこでリーダーの4年生Kくんの提案で“裁判”をすることに。グラウンドまでござを持っていき、神水寺グループ全員とNくんとが対面。4年生Kくんが話を進めていきます。

おちつける俺らの空間



Kくん「どういう罪をおかしたか」

Aくん「Tの剣をとった。とって逃げた」（罪名がつく）

Kくん「他に罪があるか」

Tくん「それと、神水寺にクレームつけた。もっと

おもしろい遊びはないんかって言って」

Kくん「まず、Tの剣を奪ったことについて」

Nくん「奪ってない。持っただけ。誰も使ってなかった」

Kくん「TもNをなぐった。Tも悪かった。お互い悪かった。だから無実。解散！」

お互い納得して解散となりました。仲間のトラブルも冷静に仲裁できるようになっているリーダー。

その後、Nくんは「ここには駐車場がないがぁ」と言いながら、神水寺の庭に自分で駐車場を描いてショベルカーをちゃっかり駐車。こうして少しずつ関わり合いながら仲間関係を築いています。

- * 子どもたちの中では、裁判なので罪名をつけていました。剣をとった（窃盗罪）と脱獄罪（捕まってもいないのに）指導員は、この子ども達のやりとりに笑いながらも感心しました。罪名までつきましたが、結局お互い悪かったから、無罪！！にホッとしました。子どもの世界は、優しくとってもおもしろいです。